

ほたるしょうだより

【家庭数配布】
豊中市立螢池小学校 No. 11
令和5年(2023年)2月10日
校長 有元 祐子

学校教育目標

ともに学び、活動し、やりぬくよろこびを創造する一学びを力に—
とことんともだち とことんやりぬく ほたるっこ

≪2月18日 土曜参観（公開授業研究会）特集号≫

今年度は、例年2学期に行っていた公開授業研究会を150周年行事との兼ね合いもあり、学年のまとめの時期の2月に行くこととしました。この時期であることを活かし、本校の2つの研究の柱の一つである人権教育のこれまでの取り組みを生活科と総合的な学習の時間で参観いただきます。各学年のテーマにそって1年間学習してきた内容をふまえた授業です。また、全体会を体育館で3年ぶりに開催いたします。保護者の参加人数に制限をかせさせていただきますが、ご理解ご協力いただき、ご参加よろしくお願いたします。

9:00 9:45 10:00 12:20

<p>公開授業（各教室）</p>	<p>移動 休憩</p>	<p>全体会（体育館） *学校のとりくみの紹介 *講演会 *各学年児童の発表</p>
------------------	------------------	--

2年→4年→1年
→5年→3年→6年
の順番です。
11:20頃からの
予定です。

*講演会 講師 山崎 亮先生

〔コミュニティデザイナー—studio—L代表、町の幸福論（東京書籍6年国語）著者〕
テーマ『情報化社会の中で子どもの育ちをまん中に学校・家庭・地域がつながっていくためには』

【お願い】

- 大変申し訳ありませんが、児童1人につき、保護者1名の参加に制限させていただきます。
- 密集・密接を避け、会話は控えていただき、譲り合って参観してください。
- 保護者用名札を着けていただき、中庭渡り廊下付近で受付をしてください。
- 上履きをご用意ください。下靴は、くつ袋等に入れて教室まで持って移動してください。
- 自転車は、東門から入り運動場西側に整列駐輪してください。駐輪後に一度東門を出て、正門から入り直して受付をしてください。
- 原則マスクの着用をお願いします。また、来校前に検温し、体調の悪い場合は来校をお控えください。
- 教育関係者と学校に関わってくださる地域の方にも参観していただきます。ご理解ください。

すべての子どもが生き生きと学び、伝え合える授業を目指して

土曜参観で学習する生活科・総合的な学習の時間の教材名と今までの子どもたちの学習の様子、見ていただきたいポイント等をお知らせします。



1年生「じぶんで やりたい! じぶんで できるよ! ~うちのしごとにちょうせん~」

1年生は、2学期と冬休みに5日間ずつ、ご家庭の協力を得ながら「うちのしごと」にとりくみました。家の仕事にはいろいろなものがあり、その仕事は誰かがしていることで生活が成り立っていることに気づき、自分自身も家族の一員として責任をもってとりくんでほしいと願い、学習をすすめてきました。

公開研では、2学期と冬休みの自分のとりくんだ「うちのしごと」をふりかえり、班で交流するなかで、3学期にとりくんでみたい「うちのしごと」を考えます。その班には、保護者の方にも入っていただき、保護者の方からもお子さんがとりくんだ内容や感じた思いを伝えてほしいと思います(詳細は学年だよりでお知らせします)。よろしくお願いたします。

2年生「いのちの学しゅうのはっぴょう」

2年生は、この1年間を通して、自分の名前の由来や家族の学習、動物の命、命をいただくということなど、「いのち」をテーマにした学習に取り組んできました。それぞれの場面で、さまざまな人と出会い、大切なことに気づいていました。

公開研では、1年間のいのちの学習をふりかえり、いのちの学習で学んできたことをもとにして、自分たちにこれからできること、したいと思うことをグループで発表します。子どもたちの学びの成果を観ていただけたらと思います。

3年生「螢池ってどんな町? ~トレジャー~自分・友だち・家族・地域・つながり~」

3年生は、1年間を通して地域学習に取り組んできました。学年目標を「トレジャー! ~自分・友だち・家族・地域・つながり~」とし、地域にある施設について学び、そこで働いたり、活動されている方の思いや願いを聞きました。そして、地域にあるトレジャーをたくさん見つけてきました。

今年度の最初に「螢池がどんな町か?」を考えるという課題を設定しています。この1年の地域学習での学びをふり返し、公開研では、その課題に対する答えをグループの友だちと一緒に発表します。グループでの発表が初めてになりますが、子どもたちのがんばりを見ていただきたいと思っています。

4年生「For You—優・友・結・遊 ～やさしい町から、やさしい学校・学年・クラスへ～」

4年生は、1年間を通して「やさしい町」というテーマで人権総合学習に取り組んできました。1学期は、下水処理場やクリーンランドへの施設見学などを通して、自分たちの生活を守る仕事について学び、そこで働く人々の思いに触れました。2学期には車イス体験をする中で、とても困ることや助けが必要な場面があることに気づきました。3学期には、町にある色々な人にとって安心安全を守るような設備について知ったり、人権講演会で聞いたことをもとに自分のこれまでを重ね、振り返ったりしてきました。

公開研では、これまでの学習を生かし、「やさしい学校・学年・クラス」にするために自分たちは、どんなことができるのか考え、一人ひとり、自分ができることの発表をします。

5年生「多文化共生を学習して、自分たちにできることを考える」

5年生は、1年を通して多文化共生の学習をしてきました。この1年で自分の常識や日本の常識だけが全てではなく、様々な「違い」があることを知り、みんなそれぞれ違いがあり、「自分らしく生きていいんだ」ということを、様々な人と出会い学習してきました。それをふまえて、もうすぐ最高学年になるにあたり、様々な人がいるこの蟹池小学校を「どのようにすればよい学校にできるか」ということを考える授業にしていきたいと思います。当日は一番身近な自分のクラスのことを考えていきたいと思います。

6年生「町の幸福論～自分たちの町豊中～」

6年生の3学期に、国語科「町の幸福論」を学習後、自分たちの住む町豊中について考えました。教科書にのっていた「バックキャスト法」を活用し、未来のイメージを想像し、自分たちが今やるべきことを意見文にまとめました。公開研の発表では、筆者の山崎さんから講演会で実際に聞いた話や、小学校生活6年間の中で生活科や総合的な学習の時間に学んできたことを思い出しながら、自分たちの住む町豊中をよくするために自分たちができることをクラスやグループで考え、パワーポイントにまとめて発表します。次の最高学年である5年生と保護者の皆さんに聞いてもらい、6年生とともに豊中をよりよい町にしていくきっかけになればと思います。

